

女性土木技術者研修で3現場視察

技術学び、交流深める

大豊建設は4、5の両日、女性土木技術者研修を行った。写真。全国で活躍する8人の女性技術者が集まり、大阪支店が管轄する関西地区の3現場を訪問。現場での最新技術などを学ぶとともに、技術

者同士の交流を深めた。

視察したのは4日が大庭浄水場作業所、5日が三田西宮シールド作業所と津門川地下

貯留管作業所で、各現場では工事概要の説明を受けた後、所長らの案内で巡回し、工事の様子や進捗状況などを確認。作業着や現場設備につい



フルハーネス型の安全帯を装着して立坑内を視察



ての意見交換や要望の聴取も行った。

放流立坑（発進立坑）の建設が進められている津門川地下貯留管作業所では、参加者がフルハーネス型の安全帯をしっかりと装着して立坑内を視察した。その後、中央監視室では質疑応答の時間が設けられ、地層の固さや1日当たりの掘削量などの質問があり、立坑は1日30〜40分程度掘り進めていること、掘削機は立坑内で組み立て・分解を行うことなどが説明された。

同貯留管は台風や豪雨時の津門川の水位上昇と浸水被害の発生を防ぐために整備するもの。貯留管は延長1・7キ、内径4・9㍍、発進立坑は深さ41㍍、内径13㍍と計画されている。設計は東京建設コンサルタント、工事は大豊建設・ソネック・田村工務店JVが担当している。

工期は2024年3月25日まで。工事場所は西宮市神祇官町ほか。

参加した長田裕美さん（東

北支店）は「いま、自分が携わっている現場と同じような仕事もあれば、経験していない現場の工事内容も知ることができて勉強になる。また、東北支店には女性技術者は1人だけなので、こうして集まれる場があるのは楽しいし、心強い。これからも継続的にこうした場があればうれしい」と感想を述べた。